

第7話：私の「新たな決意」

朝、茶原が霜で真っ白になっているのを見ると、白
いっ！寒いっ！とテンションが上がります。でも寒
さには（にも？）弱いので、いつでも誰よりも厚着
の、石井有美です。

さて今回は、私が決心したことをしゃべりたい
と思います。

最近、あと少しで帰っちゃうんだねえと言わ
れることが増えました。

そのため、さびしいなあとしみじみしてみたり、
帰ったら私は何をやるんだろうとぼんやり
してみたり。考えても始まらない、先のことは
かり考えていました。

そんな時、全国で頑張っている仲間の近況レ
ポート誌を読んでいたら、突然、まだ自分はこ
こにいるんだ！と強い衝撃が走りました。

今、ここにいる自分。そして、今ここにいる
自分にできること。

「今こそ、色んなことをどんどんやっていかな
い！」と、決意を新たにしました。

まあそうは言っても、できることは「小さな
こと」ばかりです。

それは、今までお世話になった人に会いに行
って、いろいろ話すこと。

まだ行ったことのないところに行くこと。

そして、緑のふるさと協力隊のことを、この
町の人にもっと知ってもらい、4月から来る次
の隊員につながるよう努力すること。

3ヵ月後、私はもう、この町には居ません。

でも、どんだけ時が過ぎたとしても、ふとした
ときに「よっ！帰ってきたよ！」って、遊びに来
れる町にしたいのです。「第2のふる里」として。

だから、これから3ヵ月、完全燃焼ですよ！

今月はちょっとしみじみ系でしたね。（泣笑）

では、また来月です！

野菜の品評会
入賞した立派なハクサイを前に



このまち、このひと（不定期掲載）

大躍進の1年
カヌー
大村朱澄さん



文部科学大臣杯日本カヌージュニア選手権大会にて
表彰を受ける大村さん（写真中央）

今年度、カヌー競技で全国の舞台で大活躍した大村朱澄さんです。国
内ジュニア（高校生）大会では破竹の勢いを見せている大村さん。しか
し、その瞳の先は、既にはるか向こうの世界を見据えているようです。

今年度の大会結果と将来の展望をご紹介します。

◆今年のレースをふり返って

平成18年の全国規模の大会「シングル（一人乗り）」の成績は、
3月の海外派遣選考会1000m、500mともに優勝、8月上旬の高校
総体（インターハイ）で500m、200mとも優勝、8月下旬の文部
科学大臣杯で500m、200mとも優勝、9月の日本選手権では、ジ
ュニアではなく、1000mの「一般の部」に初めて挑戦し8位。同
時に出場したジュニアの部では500mで優勝、10月の国体で500m、
200mとも優勝、とジュニアの部では実に9冠を達成、4大会で2
種目制覇し、ジュニアでは負けなしという素晴らしい成績を収
めた年でした。また、日本代表として出場した「06年ピースタ
ニー国際カヌーレガッタ」では、世界の強豪と戦い抜き、7位
入賞という成績を残しています。

◆県教育委員会表彰を受賞

この度、静岡県教育委員会表彰
が11月21日クーポール会館（静岡
市）で行われ、当町から大村さん
が表彰されました。この表彰は教
育、芸術、体育などの振興に貢献
した14人の個人と2つの団体に贈
られた賞で、大村さんは、カヌー
競技での素晴らしい功績が認めら
れ受賞となりました。

表彰を受ける大村さん



◆来年以降を見据えて…

1月にはオーストラリアのシドニーで行われる「2007 オースト
ラリアユースオリンピックフェスティバル」に、日本代表とし
て出場が決まっています。

また国内の大会では、「ジュニア」から「一般の部」への出場
機会を増やし、高いレベルの中で自分を磨いていきます。

将来的には、世界を舞台に戦える選手を目指しています。夢
はオリンピックに出場し、成績を残すことです。

力強い言葉、ありがとうございました。